【小学生高学年礼拝】

創造原理①二性性相｜すべては愛のために

　今日は、「神様」、すなわち私たちが、いつも敬礼したり、お祈りをしている「天の父母様」がどんな方か、なぜ私たち人間や被造万物を創造されたのか一緒に学んでいきたいと思います。

　神様を見たことがある、霊的に出会ったことがある人はいますか？…

　小学校高学年の皆さんは、「目に見えないから存在しない」とは考えていないと思います。空気、光、水のように目に見えなくても存在する物体があるし、霊的な目で見れば霊的な存在が見えたり、スウェーデンボルグのように霊界に行ったり、お父さん・お母さんが一生懸命に信仰（生活）し、為に生きること（活動）を通して、神様との霊的な出会い（体験）をしていることを知っていると思います。

　ただ人類は、人間始祖のアダムとエバが堕落することによって無知に陥ってしまったので、長い歴史の中で神様はいるのか？　争いがなぜ起こるのか？どうしたら幸せになれるのか？悩み、探し求めてきたのです。そうして、内的な無知を克服しようとしてきたのが宗教であり、外的な無知を克服しようとしてきたのが科学です。その両方を克服しようとしているのが真の父母様が解明された「統一原理」なのです。真の父母様のみ言に、「統一原理」は神様の原理であり、あらゆる問題を解決できる内容だとあります。

　それでは、目に見えない天の父母様をどのようにしたら知ることができるでしょうか？　統一原理の内容が書かれた『原理講論』には、「作品を見てその作者の性稟を知ることができるように、この被造万物を見ることによって神の神性を知ることができるのである。（『原理講論』P.42）」と書かれています。

　神様も、まず心の中で考えて、計画を立てて万物をつくられたと考えられます。私たちが住んでいる宇宙は、見えない神様の心が、考えるままに現れて見えた世界だということができます。ですからこの世界は、自然に生まれた世界ではなく、つくられた世界だと言えます。

それでは神様がつくられた世界は、どのような特徴をもっているでしょうか？

『原理講論』には、神様が創造されたすべての存在が、陽性と陰性との二性性相による相対的関係をもって存在し、さらに、すべての存在を形成しているもっと根本的なもう一つの関係として、外形と内性の二性性相による相対的関係を備えていて、それぞれ性相と形状と呼ばれている、と説明されています。

　そして、天の父母様は、すべてのものの根本の存在なので、「本」がついて、本性相と本形状、本陽性と本陰性の統一された存在、統一体と呼ばれています。

　そしてこの被造物に備えられた二つの特徴，

　　その第一は、すべてのものは、外形と内性，即ち心と体から成り立っています。言いかえると、二つが合わさってつくられたものです。心は私たち人間だけにあると思われがちですが、動物にもあるし、草や木にも心に当たる部分があります。

　私たちの体が大切なように、心も同じように大切です。それは、世界のすべてのものも同じです。私たちが、道端の石ころ一つ一つ、草一本一本にも愛の心を見せると、それらの姿もまた愛らしくなります。それはすなわち神様の心と体に似せて造られた世界であり、神様の姿をそこに感じるからです。神様は、ご自分に似せて造られた世界のすべてのものの中に宿っておられて、ただの一つの例外もありません。私たちの世界はそのように、神様に似ています。

　第二に、世界のすべてのものは、形として現れる姿も、陽性と陰性の二つから成り立っています。人間は男と女に分かれ、動物は雄と雌に分かれ、植物もおしべとめしべで繁殖します。

　聖書の創世記を見てみると、「神は自分のかたちに人を創造された。すなわち、神のかたちに創造し、男と女とに創造された」と、記録されています。私たちは今まで、神様のことを「天のお父様」と呼んできましたが、神様は父親であられるだけでなく母親でもあられます。ですから、「天の父母様」と呼ぶのが、より正確で正しい表現です。天の父母様であられるので、ご自身の姿のとおりに人間を男性と女性につくられたのです。

　創世記の2章を見ると、神様はアダムが一人でいる姿を良く思われず、アダムのあばら骨からエバをつくられたとあります。これは、本来、男と女がペアとなって、たがいに助け合いながら生きていくようになっていることを意味します。

　また、天の父母様は「愛したい！」という心情を中心として存在しておられます。

　人間を創造される前の天の父母様は、あまりにも平和に統一しておられたので、病気や、苦痛も無いかわりに、愛の刺激もありませんでした。

　しかし、天の父母様がつくってくださったこの世界は、男性もいれば女性もいて、五色人種、様々な言語、文化、宗教があり、スポーツができる人、芸術にたけている人、色々な個性や性格の人がいます。そのように違う人、違う国が集まった世界が、為に生き合い一つになって、高め合おうとすれば、愛の刺激にあふれる幸福と喜びの世界になるのです。

　「心情」とは、愛したい！　そして、相手が喜ぶ姿を見ながら、自分も喜びたい！という抑えきれない衝動であると真の父母様が教えてくださっています。

　みんなも「喜びたい！」という気持ちを持っていますか？

　喜びたくない人、幸せになりたくない人は、この世の中にいないでしょう。

　それは、天の父母様も同じなのです。

　しかし、そのような、天の父母様の愛したい！という衝動と、私たち人間の愛したい！という衝動は、同じくらいでしょうか？違います。くらべものにならないのです。それほどに抑えることのできない愛したい衝動を持たれている方が天の父母様なのです！

　　今日は、「創造原理①二性性相｜すべては愛のために」と題して学んできました。

❶すべての被造万物は、（天の父母様に似た）性相と形状、陽性と陰性の二性性相として創造された。

❷神様は本性相と本形状、本陽性と本陰性の二性性相の統一体であり、天の父母様と呼ばれている。

❸天の父母様は愛と心情で、万物を創造され、人間を創造されて、今も私たち一人ひとりを愛してくださっている。

　我が子である人間を愛したくて愛したくて、すべての万物を創造し、今も私たちを大きな心情で愛してくださっている天の父母様なのです。その愛と心情に似た子女となり、喜びをおかえししていく一週間としていきましょう！！